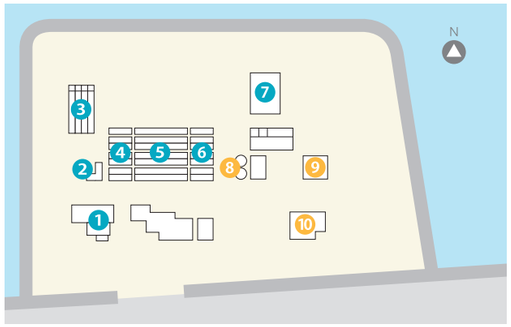
香東川浄化センター

高松市の西部地域を
大きくカバーしています。

初期雨水を貯められる雨水滞水池を備えています。

香東川は、讃岐山脈から始まり、讃岐平野を通り、瀬戸内海へと流れるため、香東川流域で生活する人々の影響を強く受けます。昭和50年ごろから流域の都市化が進み、生活様式の変化などにより川や海の水質汚濁が進んでいました。
そこで、香川県が主体となり高松西部・塩江町・香川町・香南町・国分寺町を処理区域として平成13年に施設が完成し、供用を開始。平成17年度に市町合併したことから、平成28年度に高松市へ引き継がれました。
高松西部の下水道の一部は、汚水と雨水を一緒に流す合流式が整備されています。このため、水を汚す原因となる初期の雨水を一時的に貯める専用の雨水滞水池を設置しています。

香東川浄化センター平面図



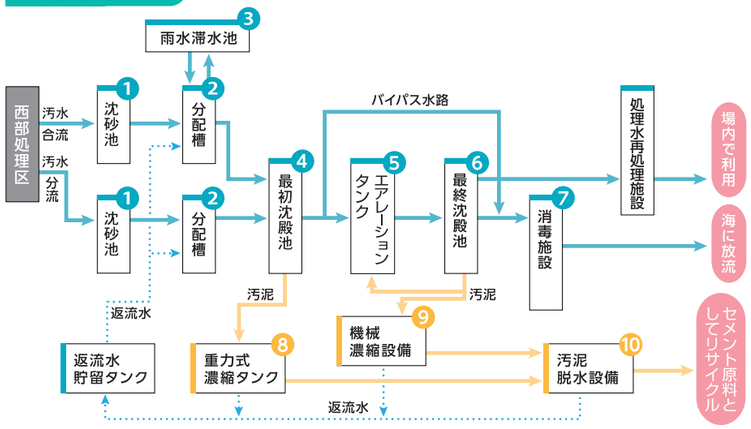
❶ 沈砂池(除塵機)

❻ 最終沈澱池

❼ 消毒施設

▲ 施設全景

処理方法



処　理　方　法	標準活性汚泥法
計画処理区域面積	3,412ha
計画処理人口	121,430人
計画処理能力	86,800㎥/日
現有処理能力	47,600㎥/日

所在地｜高松市香西本町 762

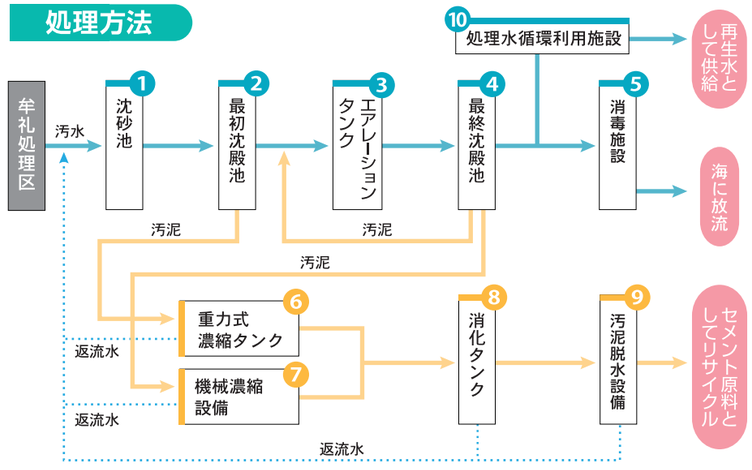
牟礼浄化苑

ベッドタウン化で増加する人口に対応して
下水道も整備されました。

高い下水道普及率と再生水利用で快適な生活環境を支えています。

牟礼町は、町制が実施された昭和37年ごろから高松市東部のベッドタウンとして発展。人口が増加するにつれて生活排水も増え、河川の水質は悪化し、衛生的にも問題が起こってきました。
そこで、昭和46年に下水道事業に着手。昭和54年に牟礼浄化苑を供用開始しました。そして、平成22年には、下水道の普及率は約92%を実現しています。
また、下水処理水(再生水)を公共施設のトイレなどにも供給し、水の有効利用に努めています。

処理方法



処　理　方　法	標準活性汚泥法
計画処理区域面積	816.4ha
計画処理人口	19,200人
計画処理能力	11,200㎥/日
現有処理能力	11,200㎥/日

所在地｜高松市牟礼町牟礼 2633-3

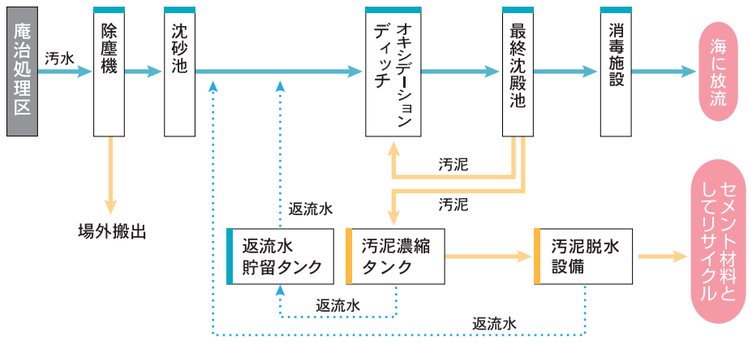
庵治浄化センター

規模や産業に合わせた方式を採用した
下水処理場です。

基幹産業と生活環境を守るために整備されました。

石材業と漁業が基幹産業の庵治町。養殖漁業が盛んに行われるようになってからは、生活排水による川や海の汚濁問題がいっそう重視されるようになってきました。
そのため、昭和61年から下水道基礎調査を行い、平成3年に下水道事業に着手。平成12年に庵治浄化センターを供用開始しました。
下水の処理方式は、規模の小さな町村に適したオキシデーションディッチ法を採用。運転経費も安く、管理も容易に行える方式です。

処理方法



処　理　方　法	オキシデーションディッチ法
計画処理区域面積	320.0ha
計画処理人口	5,500人
計画処理能力	2,900㎥/日
現有処理能力	1,750㎥/日

所在地｜高松市庵治町 6392-6